



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。



この症状はどんな病気？～根こぶ病～

【根こぶ病(Plasmodiophora brassicae)】



根部に大小さまざまなコブが多数形成される。ネコブセンチュウ類によるコブよりも大きく、表面は**白色平滑で固い**が、**後に褐変して腐敗**する。茎葉は生育が衰え、葉色が淡くなり、晴天の日には株全体が萎れる。気温や地温が**18～25℃**、**pH6.0以下**の酸性土壌や排水不良の圃場で発生が多い。休眠胞子が、**土壌中に数年間生存し**、土壌伝染する。

フロンサイド粉剤

根こぶ病すべてのステージで殺菌効果!

- ☆ 抗菌スペクトラムが広い土壌殺菌剤
- ☆ おとり植物との併用も可能
- ☆ 石灰類との併用で根こぶ病防除効果UP

対象病害	使用量	使用時期	使用方法	回数
根こぶ病	15～20kg/10a 30～40kg/10a		作業土壌混和	2回
菌核病		は種又は定植前	全面土壌混和	2回 または 定植後15日以内 または15日以内
苗立枯病(リヅク病)	40kg/10a		全面土壌混和	



ネビジン粉剤

根こぶ病の生活環の3箇所を阻害!

- ◆ 環境や土壌の影響を受けにくい
- ◆ 継続使用で安定した効果が持続
- ◆ 薬剤処理から間隔が空いても高い効果

対象病害	使用量	使用時期	使用方法	回数
菌核病	30kg/10a	定植前	全面土壌混和	2回
根こぶ病	20～30kg/10a	は種又は定植前	全面土壌混和	2回
	20kg/10a		作業土壌混和	



発病が激しい圃場では… オラクル 粉剤/顆粒水和剤

セル苗灌注処理+土壌全面処理後混和の体系処理により、より高い予防効果が期待できます!



害虫対策におすすめ薬剤

⚠ 防除チラシ掲載農薬は年間の通し回数をカウントしていません!
ご自身の散布履歴に合わせて薬剤を検討してください! ⚠

IRAC FRAC	対象害虫	薬剤名	希釈倍数	使用時期	回数
30	ウバシバ類・コナカ・アザミウマ類・オタバコガ・アオムシ ハイマダラノメカガ・ハスモンヨトウ・シロイチモジヨトウ	グレーシア乳剤※	2000～3000倍	7日前	2回
30	ウバシバ類・コナカ・ハイマダラノメカガ・オタバコガ・ ヨトウムシ・ハスモンヨトウ・シロイチモジヨトウ・アオムシ	ブロフレアSC	2000～4000倍	前日	3回
28	アブラムシ類・ハダカバチ類・ウバシバ類・コナカ・ヨトウムシ・ ハスモンヨトウ・シロイチモジヨトウ・アザミウマ類・アオムシ・ キスジノミハムシ・ハイマダラノメカガ・オタバコガ	兼商ヨーバルフロアブル	2500～5000倍 (ハダカバチ類・キスジノミハムシ:2500倍)	前日	3回
14	アブラムシ類・カタツムリ類・コナカ・アザミウマ類・ ナメクジ類・ハイマダラノメカガ・アオムシ	リーフガード顆粒水和剤	1500倍	7日前	3回

※結球あぶらな科葉菜類登録

非選択性茎葉処理型除草剤

サンダーボルト 007

すばやく効く + 根まで枯らして長く効く
ピラフルフェンエチル + グリホサートイソプロピルアミン塩
スペリヒユ・セイタカアワダチソウ・スギナなど
しぶとい問題雑草にも!

100㎡ (30坪) あたり	一般的な一年生雑草	しぶとい多年生雑草 特定外来生物	厄介なスギナ
	50mℓ/水10ℓ	100mℓ/水10ℓ	400mℓ/水10ℓ



土壌病害・雑草防除に

バスアミド

微粒剤

苗立枯病(リヅク病)・株腐病
萎黄病・ハダカバチ萎凋病
根こぶ病・ネコブセンチュウ・一年生雑草
20～30kg/10a 1回
は種又は定植21日前まで

雑草にお困りの方におすすめ!
土壌病害・センチュウ・雑草種子に効果あり!

- ① 砕土を丁寧に行う
→固まっている土の内部は消毒されません!
- ② 可能な限り被覆を行う
→被覆を行わないと薬剤が抜けやすくなります

